

事務連絡
令和2年10月12日

各高等学校
剣道部顧問 殿

沖縄県高等学校体育連盟
剣道専門部
事務局長 福島 伸朗

令和2年度沖縄県高等学校新人体育大会剣道競技における確認事項について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より剣道専門部へのご指導、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、去る10月9日に小禄高校にて標記大会に関する専門部会議及び抽選会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、多くの確認事項がございます。下記の内容をご確認頂きますようお願い申し上げます。詳細につきましては別紙プリントを2枚添付いたします。組み合わせにおいては、沖縄県高体連ホームページでご確認下さい。

記

1. 大会実施要項の変更について
2. 監督不在時の試合進行について
3. 各学校の控え場所について
4. 画像・動画の撮影について
5. 大会の日程について
6. 大会の参加について

以上

問い合わせ先

沖縄県高等学校体育連盟剣道専門部

委員長 佐久間 眞之 (小禄高等学校 TEL : 098-857-0481)

事務局長 福島 伸朗 (陽明高等学校 TEL : 098-879-3062)

大会における確認事項について（詳細）

1. 大会実施要項の変更について

3. 競技規定

令和2年度公益財団法人全日本剣道連盟の「剣道試合、審判規則、同細則」及び「全国高体連申し合わせ事項」による。また、全日本剣道連盟より出されている『主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（令和2年8月27日）』に準じて実施する。

- (1) 全日本剣道連盟のガイドラインにおいて『試合者は、鏝迫り合いを避ける。やむを得ず鏝迫り合いとなった場合は、すぐに別れるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技の発生は認める）。審判員は鏝迫り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。』とあります。

下線部の「ただちに」が審判員によって差が生じることが予想されるため、審判員の宣告を以下のように取り扱います。

★ 試合者は、鏝迫り合いを避ける。やむを得ず鏝迫り合いとなった場合は、すぐに別れるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技の発生は認める）。審判員は鏝迫り合いを解消しない場合は、鏝迫り合いから5秒程度を目安に「分かれ」を宣告する。

- (2) 全国高体連申し合わせ事項の鏝迫り合いにおいて『試合者は、正しい鏝競り合いの攻防から10秒以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鏝競り合いを解消しなければならない。』とあります。

下線部の「10秒以内」のところを、(1)の取り扱いに準じて以下のように適用します。

★ 試合者は、正しい鏝競り合いの攻防から5秒程度以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鏝競り合いを解消しなければならない。

※ 全日本剣道連盟のガイドラインに従い、沖縄県高体連剣道専門部において独自に適用する確認をしました。

4. 競技方法

- (1) 団体戦、個人戦ともにトーナメント方式とする。但し、男女団体戦においてベスト4以上はリーグ戦とする。

(2) 団体戦について

試合時間は4分とする。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする（※ 延長はなし）。チームの勝点、勝者数、取得本数が同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は自由代表者とし、試合時間4分1本勝負で行う。時間内に勝敗が決しない場合は延長を4分毎に区切って行う。

(3) 個人戦について

試合時間は4分とする。時間内に勝敗が決しない場合は延長を4分毎に区切って行い、勝敗の決するまで行う。

(4) 延長戦について

延長1・2回目（計8分）終了後『休憩2分』、その後延長3・4回目（計8分）終了後『休憩4分』。

延長5・6回目（計8分）終了後『休憩2分』、その後延長7・8回目（計8分）終了後『休憩4分』。

という順に適用し、勝敗が決するまで繰り返す。

以下、『全国高体連申し合わせ事項における「試合時間」及び「延長戦」に基づく試合運営について』より抜粋。

『休憩』

試合者を立った姿勢で納刀させ、立礼の位置まで下がらせ礼を行なわせ、面・小手は着装したまま、試合場内で深呼吸等の『休憩』をさせる。（時間は試合時間の半分である2分以内を目安とする）

『休憩』

試合者を立った姿勢で納刀させ、立礼の位置まで下がらせ礼を行なわせ、試合場から控え席に戻らせる。面・小手を外させ、控え席から下がらせ試合会場内での給水等の『休憩』をさせる。（時間は面・小手を外させ休憩させて、次に面・小手を着け始めるまでを試合時間の4分以内を目安とする）

2. 監督不在時の試合進行について（試合場を3つ設営予定です）

※ 個人戦において同校の生徒が複数の試合場で同時に試合することが予想されます。

(1) 代理監督を立てる

① 代理監督は学校関係者で対応する。（監督、引率、コーチ、監督が認める保護者）

※ 監督（代理監督も含む）の申請においては3名以内とする。（審判を兼ねる監督・役員等の関係者を除く）

② 代理監督の服装も、監督と同様とする。（お願いする方への事前連絡を確実にを行う）

(2) 代理監督も対応できない場合

① 監督に確認をとり試合を進行する。

3. 各学校の控え場所について

(1) 体育館フロア後方および2階ギャラリーとする。

(2) 控え場所では密接・密集を防ぐため、お互いの間隔を空けること。

(3) 食事においては個人用を準備し、ひとつの容器から複数の人が取り出しすることがないようにすること。

(4) こまめな手洗い、うがい、控え場所等使用した場所の消毒をすること。

4. 画像・動画等の撮影について

体育館フロア後方及び2階ギャラリーのみとする。

※ 監督の先生より、コーチ・引率者・生徒への連絡をお願いします。

5. 大会の日程について

(1) 開場時刻 両日 8:00

(2) 竹刀検量【場所：空手道場（体育館2階）】

※ 各学校代表者2名以内でまとめて行うこと。

① 1日目 8:00～9:30（個人戦選手のみ）・競技終了後1時間（団体戦選手のみ）

② 2日目 8:00～9:30（団体戦選手のみ）

(3) 練習時間

※ 監督の練習は控える。（個人戦1名で出場する学校のみ、監督の練習を認める）

① 1日目 8:00～8:45（個人戦選手のみ） ※ 競技終了後の練習は、離島の学校のみ。

② 2日目 8:00～8:45（団体戦選手のみ）

(4) 諸会議

① 監督会議 両日 8:50 ② 審判会議 両日 9:00

6. 大会の参加について

(1) 本大会は無観客での実施です。会場への入場は、来賓・役員・審判員・監督・コーチ・引率・選手・専門委員長の許可を得た業者等のみとします。※ 保護者の入場は不可。

(2) 会場に入場する方は、マスクの着用をお願いします。試合中においても同様です。選手もマスクを着用しての試合になります。（※ マスクから鼻を出して構いません。シールドのみは不可。← 全日本剣道連盟のガイドラインより、大会実施の必須条件です。）

(3) マスク着用での試合になりますので、各学校において熱中症対策をお願いします。

(4) 手指や使用場所等の消毒をこまめに行うため、各学校消毒液の準備をお願いします。

(5) 健康管理について

① 監督・コーチ・引率・選手の大会2週間前および大会終了後2週間の検温を確実行い、健康観察シートに記録すること。

② 大会当日は、健康観察シートを持参すること。

(6) 補助員の協力依頼について

大会に出場しない剣道部員・1日目は団体戦のみの出場選手・2日目は個人戦のみの出場選手は、できる限り補助員のご協力をお願いします。

(7) 出場校に感染レベル3回以上の該当校があると、大会は延期となります。最終判断は10月29日（木）。同日の沖縄県教育委員会の発表次第です。大会延期の日程は以下の通りです。

日 時：令和2年12月5日（土）個人戦・6日（日）団体戦

場 所：沖縄県立武道館

(8) 大会参加を辞退する場合は辞退届を提出すること。様式は沖縄県高体連 HP よりダウンロードすること。